

1.2 総合治水対策の評価

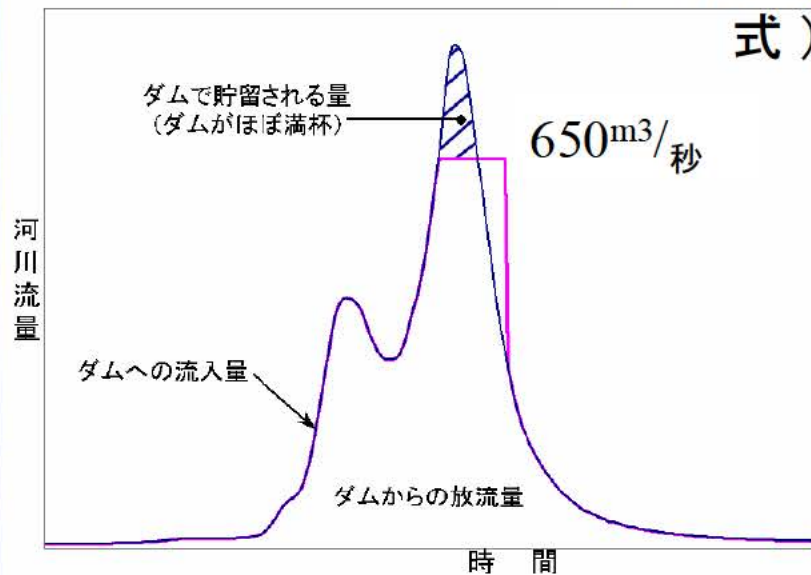
◆ダム操作の変更◆

一庫ダムの操作は、総合治水対策事業計画では650m³/秒定量放流操作であった。川西池田地区及び銀橋狭窄部等の改修が済んでいないため、これを平成12年に見直し、現在150m³/秒定量放流操作となっている。

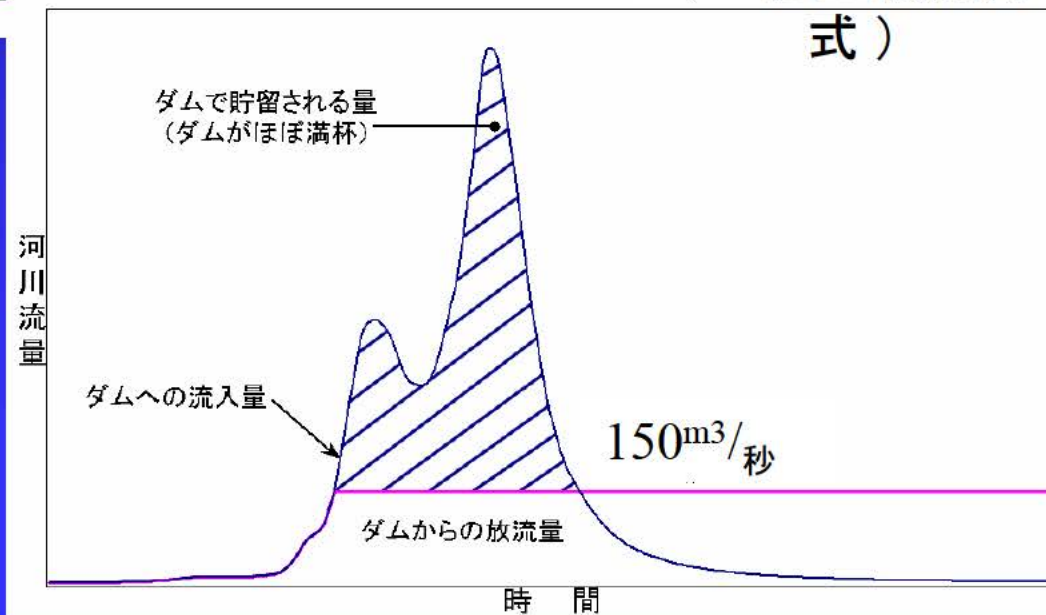
	総合治水対策事業計画	現状
放流量	650m ³ /秒定量	150m ³ /秒定量

現総合治水からの条件の変更 一庫ダムでの操作

(一定量放流方式)



(一定量放流方式)



1.2 総合治水対策の評価

◆流量分担の現状◆

現状の流域、河道、施設、操作ルールに基づき、流量分担を評価した。具体的には、著名4洪水の他に近年の中小洪水である平成元年9月・平成5年7月出水も対象として評価を行った。

◎著名4洪水

昭和28年9月・昭和35年8月・昭和42年7月・昭和58年9月

◎近年の中小洪水

平成元年9月・平成5年7月

猪名川流域洪水被害状況

【平成元年9月洪水】

(2日～3日)

秋雨前線

被害状況

死者 0人

負傷者 0人

全壊流失 0戸

半壊 8戸

床上浸水 353戸

床下浸水 2854戸

田畑冠水 39 ha

冠水状況

道路—多田大橋～赤橋間 約500m

冠水深 約0.5m

猪名川流域洪水被害状況

【平成5年7月洪水】

(4日～5日)

梅雨前線

銀橋下流 (能勢電鉄)



中の島

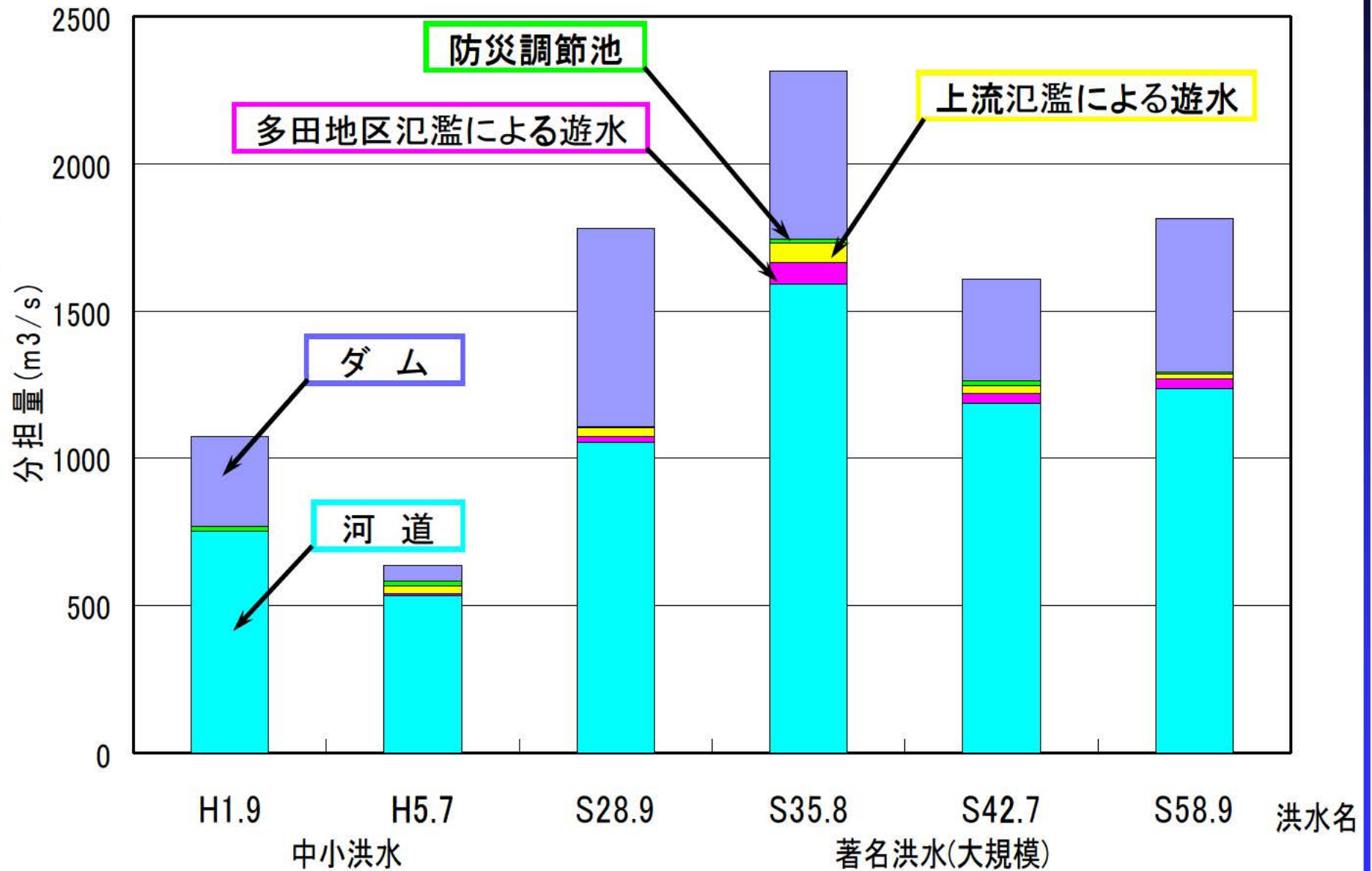


1. 2 総合治水対策の評価

◆各洪水における治水施設の分担量◆

右図より小戸地点に対して防災調節池の保水機能はそれほど大きくなく、平成5年7月洪水程度の規模を越えるとダムによる調節効果が大きいことがわかる。

各洪水における治水施設の分担量（小戸上流域での評価）



1.2 総合治水対策の評価

◆防災調節池の効果◆

防災調節池は全体では効果が大きくないが、地先で見た場合、効果が認められる。特に中小洪水ではその効果が大きい。

猪名川流域図



1.2 総合治水対策の評価

◆防災調節池の効果◆

防災調節池は全体では効果が大きくないが、地先で見た場合、効果が認められる。特に中小洪水ではその効果が大きい。